

## 令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	特定非営利活動法人アットマーククリアスNPOサポートセンター	代表者名	鹿野順一		
担当者部署	事務局	連絡先電話番号	0193-27-8400		
担当者役職	次長	担当者氏名	横澤 京子	連絡先E-mail	
住所	026-0021 岩手県釜石市只越町1-3-2				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	釜石市役所	連絡先部署	総務企画部総合政策課DX推進室		
担当者氏名	佐藤 政弘	連絡先電話番号	0193-27-8413	連絡先E-mail	

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	<ul style="list-style-type: none"><li>暮らしのDXや地域のDXとはどういう事なのかとを解説した上で、現在当法人が取り組んでいる「かまいしローカルDXプロジェクト」に展開する方向性と地域における横展開の加速化について、デジタル庁デジタル田園都市国家構想総合閉鎖案構想（2023年12月26日改訂版）最新の資料を基に解説していただいた。</li><li>総務省の地域DXの推進に向けた取り組みの事例を紹介いただきながら、釜石でどのような取り組みが必要か探る事ができた。</li><li>勉強会には行政（釜石市DX推進室）・釜石市議会議員・市内事業者・NPO等が参加しており、前回のオンラインでの打ち合わせでアドバイスをいただいた地域のDX推進を進める上で、セクターを超えたプラットフォームが必要である事をお話をいただいた事で行政も必要である事を共通認識する事ができた。</li></ul>
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和6年2月28日	講演(実地)	有	令和6年1月23日	1173
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年1月17日	講演（実地）	17時00分	19時00分	
				活動時間（分）	120
3-2. 派遣場所	会場名	当法人事務所	最寄駅	釜石駅	
	所在地	岩手県釜石市只越町1-3-2	最寄駅からの交通手段	徒歩20分/バス10分	

### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="checkbox"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/</a>
------	------------------------------	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 <small>勉強会参加者（行政職員、市議会議員、社会福祉協議会職員、自治会長、NPO理事、職員、地域事業者）</small>	人数 18人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	・地域高齢者が課題を確認するため、市内復興公営住宅に住む高齢者数世帯にヒアリングを行ったところ、想定通り、買い物、防災、高齢者を支えるコミュニティの課題が明らかとなった。また、これらの課題解決に向けたデジタル活用の取り組みを考える時、一番の課題が高齢者世帯のインターネット環境がない世帯が多いという事が解った。 ※現在、釜石市においてはインフラ環境はあくまで個人で整えるものであるとの認識であることから、DX推進計画や総合計画には明確に記載はない。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	近い将来に訪れるデジタル化社会において、DXが私たちの生活や地域にどのような変化をもたらすのか、また誰もが使える仕組みとして広げていくための取り組みや地域（暮らし・産業）のDXについて講義を依頼したい。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・釜石市DX推進室、釜石市社会福祉協議会、釜石商工会議所に加え、金融機関（信用金庫）、農業協働組合、漁業協働組合等の機関も交えたプラットフォームを構築することが必要であること。 ・2月に開催するローカルDXシンポジウム	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	地域のDXを進めるためにプラットフォームを構築する必要がある事を行政と共通認識できたこと。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ①勉強会の満足度(大変よい・よい)100%であった。理由として気づきがたくさんあったやDXの可能性と考え方や取り組み方等参考になった。さらに、IT化とDX化の理解を改める機械となったの意見があった。 ②現在DXに取り組んでいるかは1/3程度に取り組んでいるが、2/3が取り組んでいない状況である。 ③これからDX取り組んでみたい事があるかについては半数が取り組んでみたいとい回答であった。全体を通して満足度が高く、DXとは何かという事の理解がバラバラではローカルDXを進めるのは難しいという事。IT化すると自分の仕事がなくなると思う人がいるのも事実であるが、IT化してできた時間を新しいアイデアに投資していこうというのがDXの本質であるとい勉強会は参加者の意識改革に繋がった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	地域の関係機関(釜石市DX推進室、釜石市社会福祉協議会、釜石商工会議所、金融機関(信用金庫)、農業協働組合、漁業協働組合等)で構成する理域のプラットフォームを構築したい。	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

#### 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

